

第4回 APNG-Camp Busan 報告書

NTT コミュニケーションズ株式会社

川上 洋平

主な活動の内容

ーTutorial セッションの調整

Security and Issues として「Security Management of the Internet infrastructure: why and how」というタイトルで山口英先生にご講演をいただいた。また VoIP のテーマで「The trend of VoIP in Japan」というタイトルで NTT コミュニケーションズ佐野による講演をおこなった。

■ 成果と次回への課題

ーTutorial セッション総括

各セッションの出席者数を見る限り今回のテーマは必ずしも一般の参加者の求めていたものではなかった感がある。出席者数がセッションのよしあしを判定する唯一の基準ではないが、事前事後の問題意識の共有に加え、APNG Camp で扱う意義があり、同時に参加者の興味に合致するテーマ選定の方法を考える必要があるように思われた。

個別のセッションについて、まず Security セッションは時間配分がうまくいかず十分な時間を取れなかったこと、他国の発表者を確保できなかったことが反省としてあげられる。

VoIP セッションでは台湾とバングラデシュからの参加者に講演後も詳細に渡る質問を受けた。このうち TWNIC の Ching Chiao 氏は 9 月末に台湾の VoIP 関係事業者 30 数名による訪日を企画しており、その後何度かのやり取りの末、来日の際 NTT コミュニケーションズ VoIP 担当部門との意見交換会を行うこととなった。APNG Camp と自分の業務を結びつける新しい可能性を見つけたことはひとつの成果といえる。

ー次回へむけて

Tutorial セッションではいわゆる「枠を埋める」方式からの脱却を目指し、内容と参加者の興味が両立するコンテンツ、また、そういったコンテンツを継続的に提供する方法を確立したい。

また、今回は WG を組織するにいたらなかったが、上述 Chiao 氏とは今後も連絡を取り合っていくことを確認した。APNG Camp を離れて実現したミーティングについてその内容や成果を次回 Camp にフィードバックし、さらなる展開を探りたい。